

寺社Now

www.jisya-now.com

和空 presents 宿坊運営ノート

信貴山 玉蔵院
禪の湯

インタビュー

東北観光推進機構会長
東日本旅客鉄道（JR 東日本）取締役会長

清野 智

シリーズ：地域と霊場会

知多四国霊場会

巻頭特集

寺社をとりまく自然災害リスク

建築物の耐震に
ついて考える

寺社の“いま”を伝える情報誌

vol.10

マンション



商業施設



賃貸住宅
「シャーメゾン」



積水ハウスの 土地活用

オフィス



高齢者向け
住宅



クリニック



土地を活かす。地域が活きる。

土地活用とは、土地の価値を地域に活かすこと。積水ハウスは、住宅のリーディングカンパニーとして培ってきた総合力で土地の可能性を引き出してきました。入居者の多様なニーズに対応する賃貸住宅「シャーメゾン」や高級感あふれる中高層マンション、時代が求める高齢者向け住宅など、地域貢献につながる土地活用を積水ハウスがご提案します。



積水ハウス株式会社 大阪特建支店

〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-93 梅田スカイビルガーデンシックス4F



特建くん
©積水ハウス2005

土地活用に関するご質問やご相談についてもお気軽にどうぞ。

0120-131-470

大阪特建支店

検索

資料をご希望の方は、フリーダイヤルでご請求ください。
ホームページからもお申し込みいただけます。



積水ハウスの賃貸住宅
「シャーメゾン」総合カタログ



積水ハウス大阪特建支店 実例集
「Best Solutions」

巻頭特集

02 ー 寺社をとりまく自然災害リスク ー

建築物の耐震について考える

専門家による耐震診断の必要性
“耐震改修工事”の事例について 清水建設／鳥羽瀬社寺建築

16 インタビュー

東北観光推進機構会長・東日本旅客鉄道取締役会長
清野 智

20 シリーズ：地域と霊場会
知多四国霊場会

08

トレンド Now スペシャル

参拝者の利便性向上だけでなく、業務の効率化にも。
急速に進む寺社の『Free Wi-Fi』導入

10

全国寺社イベント

新川神社・最勝寺「神仏かふえ。」
ありそうでなかった神社×寺のコラボ
神職と僧侶、それぞれの立場で一問一答

11

行政・観光レポート

日本初、全世界を対象とした大規模プロモーション
「東北デスティネーション・キャンペーン」を実施

12

PICK UP

地域振興の核となる
寺社と地域の絆を結ぶ「街路灯」の新たな役割

14

うちのお宝

福岡・臨濟宗 妙心寺派 戒壇院 梵鐘
福岡・宇美八幡宮 聖母宮御神像

18

職人技

京都 伏見稲荷大社御用達
宮大工 長谷川工務店

19

活性人

日蓮宗越谷布教所 源妙寺上人 渡邊 源昇

22

特別連載①

宿坊の魅力を国内外に広めるための大規模プロジェクト
『宿坊創生プロジェクト』始動!!

23

寺社旅研究家 堀内克彦 宿坊研究会レポート 08
熊本地震から見た宿坊による減災の可能性

24

和空 presents 宿坊運営ノート

信貴山 玉蔵院
禅の湯

26

野田博明 風まかせ 10

セクシー、そんなこんな弘法大師 その二

28

トレンド Now

新しいカタチのパワースポット
「TERA SHOP GINZA」

宝刀「蚩丸」がサイダーに
地震で倒壊の阿蘇神社を支援

32

四季巡り 華景色

海蔵寺の萩



表紙写真：鎌倉・海蔵寺（撮影：原田 寛）



巻頭特集 寺社をとりまく自然災害リスク

建築物の耐震について考える

東日本大震災以降、寺社と災害協定を結ぶ自治体が増えているように寺社が災害時の防災拠点として注目を浴びている。しかし、自然の驚異の前ではその寺社自体が被災し損壊するという事態に陥る可能性もあることが、先の熊本地震においてあらためて思い知らされた。このような地震への対策として、「耐震改修工事」の重要性が再認識され始めている。また、文化的な価値の高い有形財産を有する寺社の場合、被災時の損害は計り知れないものとなる。しかし、備えとしての地震保険は主に居住用の建物を対象としているため、寺社の場合は居住空間と本堂などが一体になっているなどの特殊なケースを除いて加入はほぼ不可とされている。たとえ加入できたとしても保険料が高く設定される可能性が高い。

今回、寺社の耐震改修工事から新築までを手がけている大手ゼネコン清水建設株式会社と、宮大工として全国の神社仏閣や重要文化財に携わる株式会社鳥羽瀬社寺建築の耐震改修工事の事例を取り上げ、「耐震改修工事」とはどのようなものかを紹介。これらの事例を通じて、日本が世界に誇る伝統ある建築物と文化を未来へと継承するため、今必要なことについてあらためて考えてみたい。

専門家による耐震診断の必要性

特殊な構造を持つ寺社建築 正確な状況を把握することが肝要

寺社特有の構造による地震への耐性

阪神・淡路大震災、東日本大震災など、我が国に次々と襲いかかる大地震。さらに、2016(平成28)年4月に起こった熊本地震でも、多くの寺社で拝殿や回廊、さらには本堂が倒壊するなど、甚大な被害が出ている。気象庁では今後も巨大地震が発生する可能性を示唆している。今後、地震などの災害から寺社をどのように守っていくのか、早急に考えなければならぬ。

そもそも寺社建築でよく見られる木造の伝統工法は、地震に強い面と弱い面を併せ持っている。強い面は、柱と横架材、梁をつなぐ接合部分に基本的に金物関係を使っていないため、万が一、地震で揺れたとしても、柔軟性のある木の粘りによって自然に戻る力が働く。ある程度までなら、こうした柔軟性が有効であると考えられている。

一方、弱い面として挙げられるのが、寺社特有の構造だ。本堂

や拝殿の正面は、参拝するため壁がないが、背面は壁になっている造りがほとんど。つまり、壁のない正面は弱く、後ろが強いという性質を持つ。しかも、従来の壁にはほとんど耐震能力がない。また、土瓦の場合、屋根が重くなるため、揺れには弱い。

さらに、時代によっても建物の造り方が異なると言われている。鎌倉時代以前、2つの木材を接合する「仕口」は非常に細やかでしっかりしていたが、それ以降は次第に簡略化されたため、構造的に弱くなっているという。つまり、いつ建てられたかによっても、耐震性能が変わってくるというのだ。

素人判断は危険 図面の有無も大きなポイント

実際に耐震改修が必要かどうかを調べるにはどうすればいいのか。寺社建築の専門部署を持ち、全国の寺社の耐震改修などを手がける清水建設株式会社の社寺建築・住宅部上席マネージャー、太郎良堅(たろうよしけん)さんは「素人が建物の



老朽化など外見だけで判断するのは危険。経験のある建設会社、専門家に相談することが重要です」と話す。まずは、1981（昭和56）年以降の新耐震基準で建てられているかどうかが一つの判断基準となり、それ以前だった場合は一度、専門家のチェックを依頼するのが賢明だ。



社寺建築・住宅部長 金高 正典さん

また、実際に耐震診断を実施する前の重要な確認事項が建物の図面の有無。これによって期間やコストが大きく異なってくる。図面がない場合は図面を起こすところから始めるためコストも割高になってしまうのだ。清水建設の耐震診断の流れを例にあげると、図面が用意できたら、現状調査からスタートする。床面が水平であるかどうか、柱が傾いているかなど、経年劣化の状況を調査。さらに、独自の耐震診断技術を活用し、継手・仕口の種類や柱の太さ、経年劣化調査など様々な数値データを基に現



社寺建築・住宅部
上席マネージャー 太郎良 堅さん

状の建物耐力がどれくらいかを算出し、正確な耐震性能を診断する。

この診断に基づいて、補強案を作成するのが一連の流れ。費用と時間については規模や劣化状況などによってまちまちなので、一概に言えないが、図面がない場合、図面を起こすだけでも数10万円から数100万円。単純に診断だけであれば、5〜60坪で100万円プラスアルファほどが一般的な価格だという。診断期間は最低3ヶ月を見ておく必要がある。

同社の社寺建築・住宅部長、金高正典さんは「耐震診断に加え、劣化破損などは目視できるところは10年単位で、天井裏や床下などの見えない部分は50年単位で点検したほうが安心です」と助言している。

耐震診断の流れ

1. 現状調査：簡易診断を行う

- ・建物履歴調査
- ・使用状況調査
- ・不陸、柱傾き調査



2. 耐震診断：実証データに基づき建物耐力を数値化

- ・一次診断：既存図面資料を基に現地調査、劣化度調査
- ・二次診断：詳細現地調査、実測調査、コンクリート強度調査、中性化試験



3. 総合評価：現状の建物の耐力とその建物に必要とされる耐力を比較検討

- ・耐震性能調査、要求性能評価、最適補強法の検討



耐震補修工事へ

耐震工事の種類

1. 耐震工事

建物の柱、壁の強度、粘り強さを高める。



2. 制震工事

建物の揺れによる振動エネルギーをダンパーが吸収し、建物の揺れを小さくする。



3. 免震工事

免震装置により建物と地面を切り離し、建物に伝わる揺れのエネルギーを小さくする。



【取材協力】清水建設株式会社

伝統工法と最先端の技術力を融合 寺社の要望に柔軟に対応した耐震改修

明治神宮外拝殿の耐震改修 外観を変えず伝統工法を駆使

越中富山の木工であった初代清水喜助氏が創業以来、宮大工として培った伝統工法と現在の技を融合した社寺建築に取り組み清水建設（本社・東京）。全国の寺社の新築や改装はもろろん、耐震・免震改修を手がけている。

木造建築の粋を結集した明治神宮（東京）の耐震補強工事は2011（平成23）年に2期、約半年間かけて行った。きっかけは明治神宮からの依頼により現状調査した結果、人が多く集まる外拝殿が最も耐震性が弱いという結果が出た。外拝殿は1958（昭和33）年に再建された純木造建築の建物だが、一番の弱点は壁がないこと。明治神宮から出された要望は「極力、伝統工法により、金物に頼らない補強をしてほしい」「外観を変

えないでほしい」という2点だった。

また、図面がなかったため、現地で部材の寸法を測りながら図面を起こしていった。これを元に柱の大きさなどを加味しながら建物の耐力を把握。その上で、明治神宮の要望に対応した補強案を作成した。

具体的には、屋根と天井の間にある小屋裏に、斜めの木材「火打ち梁」を入れて補強。また、天井の桁と桁の間に、耐震性のある板壁を入れ、従来の板壁の裏にも耐力板壁を設けた。さらに、柱を水平方向になく長押しと、柱の仕口を改良して取り付け、耐震性をアップさせた。

参拝者の足を止めないための さまざまな創意工夫を実施

「この工事で一番苦労したのは、参拝者の足を止めてはいけない

点。なにしろ、参拝者がほぼ、途切れることなく訪れる場所ですから」と同社社寺建築・住宅部長の金高さん。清水建設ではこうした参拝者の流れをさまたげないよう、トンネル状に足場を組み、人々にくぐり抜けてもらうよう工夫をした。さらに、明治神宮では結婚式などの利用が多いため、記念写真の撮影などにも配慮。足場外部の仮囲いのシートに原寸大で外拝殿の写真をプリントし、一見すると、工事していないような工夫を施した。

その結果、参拝者や結婚式参列者などからのクレームはなく、むしろシートが特殊な演出として喜ばれたそう。

また、明治神宮では耐震補強工事の途中で東日本大震災が発生。実際に耐震技術の性能が示された形となり、「耐震補強をやつていてよかった」という安堵の声が多数聞かれたという。

「明治神宮に限らず、心の拠

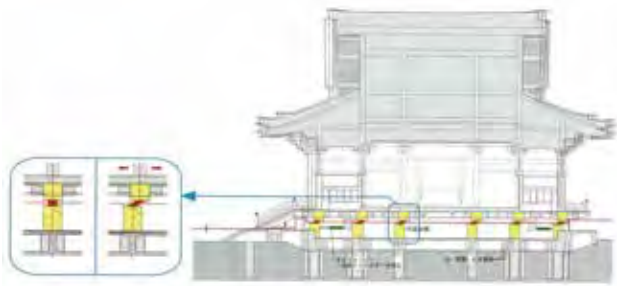


（上）耐震改修工事前の明治神宮 外拝殿
（下）施工中の外拝殿。仮囲いに特殊デザインシートを使用し、工事中とは思えない雰囲気と環境を維持した

り所となる寺社が健全な形で保たれるというのは、次代に引き継ぐ上でも大切なこと。また、現状の形を変えずに、補強を望まれる方が多いので、そういう意味でも高い評価をいただいています」と同社社寺建築・住宅部上席マネージャーの太郎良さん。現在も明治神宮は改修前と変わらぬ姿で、今後、発生する可能性のある震度7程度の地震にも耐える「安心」という構造的な性能を備え、参拝者を迎えている。

軽量なチタン瓦を採用した 浅草寺の耐震改修

同社の耐震改修では鉄骨鉄筋コンクリート造りの寺社も手がける。その一つが、浅草寺（東京）だ。浅草寺本堂は2006（平成18）年に耐震補強が行われていたが、年間3000万人が訪れる地域振興の拠点だけに、参拝者の安全確保を第一に考える浅草寺から「災害に強い



(右上) 本瓦葺からチタン瓦葺に改修された浅草寺本堂 (右下) 浅草寺本堂素屋根トラス架設工事の様子 (左上) 免震化が行われた西新井大師総持寺本堂 (左下) 西新井大師総持寺の1階柱頭に設置された免震装置は、地震時に変形し、建物に直接作用する地震力を低減

建物を」との強い要望を受けて、2010(平成22)年から18ヶ月かけて改修工事を実施した。

最も大変だったのが「屋根瓦」の改修だ。とかく伝統工法で造られた土瓦は重量があり、揺れた際には不安定になり最悪の場合、瓦がずり落ちる危険性もある。そこで、土瓦のかわりにチタン瓦を採用。チタン瓦はコスト高だが軽量だけでなく、耐久性・耐蝕性にも優れているためメンテナンスも必要ない。さらにビス留めされるため落下の心配もなく

なる。葺き替えの際には、今までの瓦と見た目を変えてはいけないため、3DのCADを使ってシミュレーションしながら瓦を設計。燻しの瓦に近い色を出すために、表面に小さな金属の粒を付けるブラスト処理を施し、さらに、3種類の色違いを作成してランダムにまぜ、自然な風合いを演出した。この工事により、同寺の屋根の重量は5分の1に減少させることができた。

浅草寺でも参拝は通常通りに行われていたため、足場を組む際は夜間の作業となった。「浅草寺に限らず、参拝に支障がないように、また年中行事が滞らないように」と、社様の様々なご事情に配慮して施工しています

ので、参拝客をはじめ、檀家や氏子の方々の工事への不満はほとんどありません」と太郎良さん。

西新井大師総持寺の免震化 仮本堂でコストと工期を削減

耐震改修には、免震化という手法もある。同社では2008(平成20)年、西新井大師総持寺(東京)の本堂の免震化を実施した。西新井大師総持寺は半地下にある1階が玄関やホールになっており、2階に本堂がある。

このため、2階本堂の耐震性を向上させるために、1階の柱の頭部に免震装置を設置する中間層免震構法を採用。さらに、基礎の部分や柱、床の耐圧盤なども補強して、全体の基礎を固めた。約7ヶ月間に及ぶ工事期間中は、お寺側の配慮で仮の本堂を別の場所に移転したために、工事に集中することができ、コストも工期も抑えられた。

改修費用を抑える方法や有効利用の提案も

こうした耐震改修で大きなハードルとなるのが、改修費用だ。太郎良さんは「資金が準備できずに、耐震改修できない寺社もあります。そういう場合は、

単純に耐震補強だけでなく、境内の有効利用や複合施設を建てて収益を上げるといったご提案もさせていただいています」と話す。

また、コストを抑えるために、改修の手法や素材を変えるといった選択肢もある。「チタンは高価ですが、ステンレスなどほかの素材で施工する方法も。コストも含めて、檀家や氏子の方々も含めた寺社の思いや要望を受け止める。それが長年、寺社建築に携わってきた我々の使命です」と金高さんは最後に語ってくれた。



(左) 社寺建築・住宅部長 金高 正典さん
(右) 社寺建築・住宅部 上席マネージャー 太郎良 堅さん

【取材協力】

しみずけんせつかぶしがいいしゃ 清水建設株式会社

東京支店 社寺建築・住宅部

〒104-8370
東京都中央区京橋2丁目16-1
TEL.03-3561-3760
http://www.shimz.co.jp/shazi/

宮大工の仕事は試行錯誤の連続 日本建築の伝統美を守る 大きな誇りと喜び

7人の棟梁が活躍する 宮大工のスペシャリスト集団

大阪府東大阪市に事務所を構える鳥羽瀬社寺建築。これまで数多くの神社・仏閣、国宝・重要文化財などに携わってきた宮大工のスペシャリスト集団。一般社団法人建築設計・施工、復元・改修、国宝や重要文化財の保存・修理、社寺建設の技術を活かした住宅建築、古民家の再生など幅広い案件を手がける。代表の鳥羽瀬公二さんをはじめ現在7名の棟梁が在籍しており、修業中の若手スタッフとともに、日本古来の建造物を未来へとつなぐ重要な役割を担い続けている。

建物の変形性能で耐震性を 判定する『限界耐力計算』

全国の寺社から様々な依頼が

寄せられる中、ここ数年軒並み増えているのが、耐震診断および耐震改修工事に関する案件だといふ。「熊本地震以降はその傾向にますます拍車がかかり、危機意識のさらなる高まりを肌で感じています」と鳥羽瀬さん。社に関しては、柱や梁を加工して組み合わせた『伝統構法』によつて建てられているケースがほとんど。診断・改修工事いづれに關しても、一般的な建造物とは全く異なる技術と知識が要求される。

一般的な耐震診断は、『在来軸組工法』と呼ばれる、明治時代に西洋から入ってきた現在の主流である建築工法を前提にして行われる。特徴としては、『壁は合板』『継手・仕口には金物を使用』『すじかい等の斜材を使用』『コンクリート造の基礎と柱を緊結』などがあげられる。いわば

地震の揺れに対して「剛」をもつて対処する構法であり、大まかには建物内の壁の量で耐震性を判定していくことになる。これに対し、地震大国である日本で磨き抜かれてきた『伝統構法』には、揺れに対してある程度までは変形して力を吸収する「柔」ともいえる創意工夫が多分に詰り込まれている。『壁は土塗壁』『継手・仕口には金物を使わない』『斜材の代わりに貫を用いる』『基礎は礎石の上に柱が置かれるだけで緊結されていない』といっ



代表取締役 堂宮大工 鳥羽瀬 公二さん



た具合に、伝統の建物の耐震性は変形性能で判定する「限界耐力計算」による診断が必要であり、その工程も非常に複雑になってきます。耐震改修に關しては、具体的には変形に追従する性能を持った樹脂ダンパーやフレーム類を多用します」と鳥羽瀬さん。伝統構法とひと口にいっても、手がけた職人のこだわりやクセ

耐震シェルターを設けた 西教寺の改修工事

同社が手がけた耐震診断・改修工事の一例として、大阪府和泉



(右上) (右下) 耐震工事前や工事中も安心して行事を執り行えるよう、仮補強として「耐震シェルター」を4箇所を設置
(上)「耐震シェルター」で使用した木材は塗装して再利用される



(右) 柱と梁の仕口部分に取り付けることによって、振動エネルギーを吸収する樹脂ダンパー（樹脂一体型仕口ダンパー耐震リング）(中) 柱や梁を補強するリブフレームという枠組み (左) 西教寺耐震改修工事の設計図面

市の西教寺を取り上げたい。鳥羽瀬さんの元に築約200年の同寺から依頼が寄せられたのは、今から6年ほど前。「住職の知り合いの方のご案内で建物を見せてもらったのですが、かなりの傾きが生じており、大きな地震に遭えばすぐにでも倒壊の恐れがある状態でした」と振り返るのは、同社専務取締役の稲岡信義さん。

調査の結果、白アリや雨漏り被害等による柱の腐食、様々な事象が影響し、また地盤沈下などが認められ、早急に対策が必要な状態であることが判明した。事態を重く見た住職は、大規模な改修工事を決意。檀家に現状を説明し、工事費用のための浄財を募ることとなった。また、改修工事着手までには相応の時間がかかり、その間にも法要などは行われる。その際の安全性を高めるため仮補強である『耐震シエルター』を建物の4箇所にした。

ひとまずの工事費用の目途がつき、実際の耐震改修工事がスタートしたのは、設計を始めたときから約3年後のこと。床下の基礎や被害箇所の修理などを中心に、建物本体の根幹を支える部分の改修が第1期工事の大

きなポイントとなった。同寺始まって以来の大規模改修となった第1期工事は今年4月に無事完了。まさに、息を吹き返した、ともいえるその姿を目のあたりにし、住職や檀家の感慨もひとしおだった。今後、時期をみて瓦屋根などを取り替える第2期工事も行われる予定だ。

日本古来の建造物を未来へつなぐために

耐震診断設計を行うためには、まずは計算に必要な数々の図面（耐震要素平面図、軸組図）を作成する必要がある。材料一つひとつを調べての建物重量の算定や健全性の確認、地盤状況の調査など根気の要る作業の連続であり、大きな費用もかかるだけにプレッシャーも相当なものとなる。

鳥羽瀬さんはこの仕事にかけの思いをこう語る「日本建築の伝統美を守る職人の姿に憧れ、私が宮大工を目指したのは20歳の頃。最初に携わったのは奈良・東大寺の大仏殿の修理でしたね。その時に受けた感動は、今でもしっかりと胸の中に焼き付いています。宮大工の仕事はひと筋縄ではいかない場面も多く、作業は試行錯誤の連続。日本の大切な

文化である神社・仏閣の風格を現代に伝え、未来へと残す。その役割を担える大きな誇りと喜びを胸に、一生修業の身であると決意を新たにしています」。同社では寺社の耐震改修工事についての相談は無料で受けている。日本建築の伝統美を守ろうとする鳥羽瀬社寺建築の取り組みに、今後も注目していきたい。



専務取締役 堂宮大工 稲岡 信義さん

寺社が防災拠点としての役割を果たすために

東日本大震災や熊本地震の発生当時の被災地では、避難所が不足し、多くの被災者が自宅近くの寺社で避難生活を送った。こうしたことがきっかけとなり、寺社が自治体や地域社会と連携をとりながら災害協定を締結するケースが急増している。災害時の避難所としてはもちろん、帰宅困難者の滞在施設や遺体の一時遺体安置所としての利用、ボランティア支援活動のための駐車場提供など、災害協定・協力関係の内容は多岐にわたり、地域の寺社が防災拠点として期待されていることは明らかだ。また、災害協定を結んだ寺社は避難者受け入れるための備えを積極的に進めている。

しかし、震災の地震や津波で全半壊した寺社も多く、防災拠点としての活用には耐震対策という課題が残っていることも事実だ。地域コミュニティの中で寺社の存在意義を高めていくうえでも、今回ご紹介した事例を参考に、建物の保全について改めて考えてみてもらいたい。

【取材協力】

かぶしきがいしゃとばせしやじけんちく
株式会社鳥羽瀬社寺建築

〒579-8001
大阪府東大阪市善根寺町6丁目9-28
TEL：072-981-8493
<http://www.tobase-syaji.co.jp/>

参拝者の利便性向上だけでなく、業務の効率化にも。急速に進む寺社の『Free Wi-Fi』導入

近年、頻繁に耳にするようになってきた『Wi-Fi(ワイファイ)』。パソコンやスマートフォン、タブレットなどのネットワーク接続に対応した機器を、無線(ワイヤレス)でLAN(Local Area Network)に接続する技術のことだ。ここ数年のスマートフォン利用者や外国人観光客の増加に伴い、公共交通機関や観光施設などで、こうした『Wi-Fi』サービスを無料で提供する『Free Wi-Fi』環境を構築する動きが加速している。寺社においても、国内外の参拝者への要望にこたえるだけでなく、寺社の業務の効率化、地域の防災拠点としての通信機能を高めるためなど、さまざまな理由で導入するケースが増している。では、実際にはどのように利用されているのか、導入事例を2つご紹介しよう。

Case1 埼玉県・光善寺

本堂でも自宅でも スムーズにネット接続

東京都・元麻布に構える1583

(天正11)年創建の歴史ある寺の分院として、埼玉県越谷市に開設された光善寺。富谷哲眞住職が僧侶でもある奥様とともに、寺の業務すべてを担っている。

寺の業務を進める上で必要不可欠なのがインターネット環境。「以前は電話やFAXで門徒(檀家)や葬儀社とやりとりしていました。今はメールになりました。メールだと、法事の日時やお名前などが正確に伝わりやすから」と住職。ところが当初、お寺のインターネット環境は、寺隣の自宅にある有線接続のみ。その



メールをチェックする富谷哲眞住職

後モバイルルーターを使用し、はみだが、電波は本堂まで届きにくかった。



新たに設置されたWi-Fiアクセスポイント装置

そのため住職や奥様は、本堂と自宅とをメール確認のために行き来していた。また、ある法事で大勢の人が集まった時、「ここではWi-Fiが使えないんですか?」と聞かれたことがあったという。そこで富谷住職は、寺の境内をカバーするWi-Fi環境の構築をNTT東日本に依頼した。「いつ来客があるかわからないので、日中はなるべく寺を空けたくない。無線でのインターネット環境を整えられないかと、担当者にお話しました。」

こうして導入したのが、さまざまなWi-Fi端末を無線接続できるWi-Fiアクセスポイント装置。ノートパソコンを持ち歩けば、場所を選ばずメールの確認ができるようになった。一方プライベート利用でも、メリッ

トがあったようだ。「高校生から大学生までの3人の子供たちは、自宅ですマホを頻繁にWi-Fiにつないでいるように、通信速度が速くなったと喜んでいます」。今回導入したWi-Fiのアクセスポイント装置は、業務用や参拝者用など、無線の電波を分けることができ、セキュリティ面にも配慮。「今後は、法事等で寺を訪れる人たちにも、便利にWi-Fiを使ってもらえると思います。また遠方で法事に来られない方のために、写真や映像を送ることも考えています」。Wi-Fi環境が整った今、お寺にも新たな可能性が生まれそう。

浄土真宗本願寺派 光善寺
〒343-0036
埼玉県越谷市三野宮1343

Case2 群馬県・慈眼院

つながる便利さに加え 寺院のプロモーション効果も!

高さ約42メートルの白衣大観音で知られる群馬県高崎市の慈眼院。高

崎市のシンボリックな観光スポットで、大観音の胎内拝観の参拝者数だけでも年間6万人、同院への来訪者はその5倍はあるという。そのうち3割は東南アジアをはじめとした海外からの参拝者で、境内でも多彩な言語が飛び交っている。

そんな同院では、スマートフォン等の電波状況が悪いことが悩みだった。橋爪良真住職とともに同院を護る橋爪榮濟副住職もつながりにくさを実感し、『Free Wi-Fi』に興味を持っていたところ、NTT東日本からの提案を受けて早速、試験運用してみることに。毎年約1万人が訪れる8月第4土曜日の万灯会と、初詣客でにぎわう大みそかから元旦にかけての2回のタイミングでFree Wi-Fiを提供したところ、「寺院でもWi-Fi



橋爪良真住職（左）と橋爪榮濟副住職（右）



が使えるんだ」と好評だった。業務用と参拝者用で無線の電波を分け、セキュリティ面の安心感もあり本格導入を決定。本堂に1基、大観音の御足もとに1基のWi-Fiアクセスポイント装置を設置した。

同院では『Facebook Wi-Fi機能』を採用しており、参拝者はフェイスブックで同院に『チェックイン』するだけで簡単にWi-Fi接続できる。これにより、同院の名前が『友達』のタイムライン上にも表示されるため、プロモーションの効果も大きいようだ。「友達間で話題に上り、行ってみようかな」というきっかけにもなっているようです」と橋爪副住職。加えて「人が集まる場所だからこそ、



災害等で緊急的に情報をやりとりしなければならなくなる時もある」と防災拠点としての役割も意識しているという。今後は外国人参拝者の増加を見据え、フェイスブックページの多言語化を検討中、とのこと。思い描く夢を一つひとつ実現していけそう

高野山真言宗
高崎白衣大観音 慈眼院
〒370-0864
群馬県高崎市石原町観音山
<http://takasakikanon.or.jp/>

NTT東日本が提供する『ギガらくWi-Fi』とは

今回紹介した2箇所の寺院はNTT東日本が提供するWi-Fiサービス『ギガらくWi-Fi』を利用している。そこで導入メリットやサービスについての詳しい内容をNTT東日本に問い合わせると、すでに『ギガらくWi-Fi』は全国で約1万2千台導入されており、寺院でも導入が進んでいるとのこと（2016年6月末時点）。NTT東日本の長尾さんはこう話す。『ギガらくWi-Fi』が寺院様に喜んで頂いている点は大きく3つあると感じています。まず1点目は、電波が

届く広さの境内なら、自由にインターネットに接続して作業ができるという点です。当然、無線になりますので、煩わしい配線などがなく、境内の景観を損ねることもありません。2点目は、セキュリティの高さです。最新の暗号化技術を採用していることはもちろん、業務用と参拝者用の電波を分けて使用することが可能ですので、氏子さんや檀家さんの個人情報なども、しっかりと守ることができます。3点目はサポート体制です。弊社では365日サポートセンターが電話で対応しており、9時から21時までやさしい相談事でもスタッフがサポートします」。

さらに初期導入時はWi-Fiアクセスポイント装置が全て設定された状態で届けてくれるので、電源とLANケーブルをつなげばすぐにWi-Fiを利用することができ。外国人観光客が増加する中、Wi-Fi環境の需要はますます増加傾向にあり、寺院へのWi-Fi導入の必要性も高まりそう。今回ご紹介した事例を参考にWi-Fi環境の構築を検討してみたいかがだろうか。

【お問い合わせ】
株式会社NTT東日本・南関東
東京事業部 オフィスICT部門
TEL 0120-347899
受付時間 平日9時〜17時

全 国 寺 社
イ ベ ン ト



右・松木禰宜・谷内副住職が正面に並び参加者の質問に答えていく。 左上・新川神社の松木信孝禰宜 左中・最勝寺の谷内良徹副住職 左下・新川神社参集殿

新川神社・最勝寺「神仏かふえ。」

ありそうでなかった神社×寺のコラボ 神職と僧侶、それぞれの立場で一問一答

今回で第4回目の開催

禅に関心があった禰宜が
坐禅やヨガへの参加がきっかけ

富山市の北東に位置する新庄町。かつて、新川神社はこの地を治めた新庄城の鬼門に鎮座したことから、特に厄除け神社として、また立山登拝の安全祈願の社として、さらには暴れ川の水を鎮める水神として篤く崇敬されている。今回で4回目を迎えた神社と寺のコラボによるイベント「神仏かふえ。」は、「新川神社新庄御鎮座四百年祭」の記念事業の1つとして今年3月に竣工した、同社参集殿で実施された。

「神仏かふえ。」とは、1つの会場に神職と僧侶が同席し一般の参加者と、神様や仏様について普段から疑問に思うこと、今さら聞けないこと、日頃の悩みなどざつとばらんにお茶でも飲みながら話す会である。新川神社の松木信孝禰宜と富山インター近くに存在し、蜷川新右衛門の菩提寺である最勝寺の谷内良徹副住職により、開催されている。

このイベントは、新たに建てる参集殿を、神道道場をコンセプトにしようと考えていた松木禰宜が、禅に興味をもち、前々からコンサートや坐禅、ヨガなどを開いていた最勝寺を参考にしようと同寺に足を運んだことに端を発する。催し後の茶飲み話の席で、神仏に仕えながらお互いの事はよく知らない、ならば大切な事なので地域の皆さんにもそういう場を設けてはどうか、という話で盛り上がり、最勝寺谷内副住職が、試しにカフェでもやってみようかと松木禰宜に声をかける。2015(平成27)年7月のことである。その2ヶ月後、最勝寺本堂で記念すべき第1回目が開かれた。予想を超える40名が参加。そして、2回、3回と最勝寺で行われ、参集殿完成に合わせ、満を持して新川神社での第4回目となった。

お茶と御菓子が用意され、参

加者の疑問に禰宜と副住職それぞれが応える一問一答形式。参加者にとっては神社仏閣をより深く知り、足を運ぶきっかけ作りにもなっている。また、禰宜や副住職にとっても自分たちの立ち位置が分かる学びの場であると言う。松木禰宜はこのイベントを通じて「神仏共に尊んできた祖先の叡智を継承していきたいと思います」と今後の抱負を語ってくれた。



曹洞宗
ざいりゅうざん さいしやうじ
瑞龍山 最勝寺
〒939-8222
富山県富山市蜷川 377 番地
TEL. 076-429-1285
http://www.saishozen.com



にいかわじんじや
新川神社
〒930-0992
富山県富山市新庄町
2丁目13番47号
TEL.076-441-8186
http://niikawajinja.com

行政・観光リポート

行政・観光のトレンド情報をリポート

日本初、全世界を対象とした大規模プロモーション「東北デスティネーション・キャンペーン」を実施

東日本大震災発生から5年が経過したものの、東北の観光は風評被害等の影響により、全国的なインバウンド急増の効果を享受できていない厳しい状況が続いている。全国における外国人延べ宿泊者数は、震災前の2010年比で232.5%まで上昇しているのに対し、東北6県においては104.0%、福島においては55.2%に留まっている。

こうした中で、政府は2016(平成28)年を「東北観光復興元年」に設定。それに基づき観光庁と日本政府観光局(JNTO)は5月から、東北6県の観光復興に向けた取り組みを大幅に強化するため、アジア・北米・欧州・豪州を中心とした全世界を対象に、大規模な観光宣伝キャンペーン「東北デスティネーション・キャンペーン」を実施。全世界を対象にしたデスティネーション・キャンペーンは日本では今回は初の試みとなる。

東北の観光復興を掲げ 多彩なプロモーションを実施

「東北6県の外国人宿泊数を、2020年までに2015年の3倍となる150万人泊に拡大」、「今後5年間で海外の旅行会社等関係者を2千人規模で東北へ招請」することを目標に掲げ、今後はグローバルメディアによる情報発信や海外メディア・旅行会社の大規模招請など、東北観光強化のための様々なプロモーションの実施を予定。

第一弾の取り組みとしては、日本への注目度が高まった伊勢サミット開催期間(5月26日・27日)とその前後の時期に、グローバルニュースメディアであるアメリカのニュース専門テレビ局CNNで東北地域の魅力を紹介するTVスポットCMをオンエア。CNNのデジタルメディアで東北地域の文化や歴史、観光名所等に関する特設サイトを開設し、外国人目線で情報を発信した。

さらに6月には、韓国旅行業協会との共催で、韓国の旅行会社等関係者約250名を対象とした東北の観光地の視察ツアーを実施。また、訪日リピーターが多い東アジア地域における訪日ツアーの造成と訪日外国人旅行者数の拡大を図るため、「VISIT JAPAN EAST ASIA Travel Mart 2016」も東北で初開催。中国、

韓国、台湾、香港の東アジア4市場の旅行会社関係者100名を東北に招請し、仙台での商談会、東北6県及び北海道(道南)の視察、函館での観光関係者交流会を行っている。

インバウンド拡大に向け 東北の寺社に求められる施策とは

全国の外国人宿泊者数に比例し、インバウンド消費の恩恵が少なかった東北の寺社も、今後は参拝者の誘致活動において独自に力を入れていく必要がある。多言語対応やフリーWi-Fiスポットの設置、様式トイレの整備といったハード面はもちろん、地域の観光協会や地元の旅行会社等と連携したストーリー性のある魅力的な旅の企画への協力、体験型の企画イベントの創出などが、訪日観光客の誘致、インバウンド拡大において重要な取り組みになってくるだろう。



写真はCNNで流している映像の一部。



吉野山に設置された街路灯とデザイン案



PICK UP

地域振興の核となる

「街路灯」の新たな役割

『あつて当たり前』を見直す

暗闇を照らす街灯はそこかしこに設置されているものの、周囲の風景に溶け込みその空間の一部となっている街灯はまだ少数だろう。防犯のために数を多くするという考えでむやみに設置した結果、照度やデザインが異なるとアンバランスな空間を生み、さらに個別の管理が必要になるためメンテナンス費や電気代も膨れ上がる。そういった街灯がとりわけ文化的・歴史的価値のある寺社の参道に設置されていたらどうだろうか？寺社が持つ厳かな雰囲気や静寂の邪魔になつてはいないだろうか。そこで、世界文化遺産に指定されている奈良県の吉野山の照明デザインをはじめ、日本各地の寺社や歴

史的エリア、商店街などで数多くの街灯を手掛ける日本街路灯製造株式会社は、今求められる「街路灯」のあり方について話を聞いてみた。

『まちづくり』を意識する機会

吉野山の街灯取替え設置に携わった日本街路灯製造株式会社の荒船衣里さん。世界遺産という場所での街路灯の在り方をいろいろ模索したことについてこう語ってくれた。「吉野山の場合も、種類が異なる街灯が点在していたために電料料金の見直しが必要など、意見から取り替え設置が検討されたのが始まりです。さらに世界遺産でもあるため街路灯デザインや設置方法、メンテナンスまでを含め、1から

見直しを図りました。その中で特に意識したのは、地元の人や観光客が持つ吉野山のイメージや実際の利便性。そのためデザインと防犯・防災機能が融合した街灯を模索していく作業でした」。

実際に新設された街灯は吉野山のシンボル、金峯山寺の寺紋である桜の花があしらわれ、幽玄な趣の吉野山の風景と見事に調和している。設置までの間に地元民や周辺の寺社と意見を交換することで、地域そのものの「まちづくり、まちの景観保持」に対する意識が高まったようだ。

『周囲に溶け込む』魅せる灯り

日本街路灯製造株式会社が最も意識しているのが、街灯は



日本街路灯製造株式会社手がけた施工実績 (右)伊勢市駅前広場(中)法隆寺(左上)下諏訪大社通り(左下)宇陀市花ノ木橋



日本街路灯製造株式会社 大阪支店
係長 荒船衣里さん
子供の頃から文化財への深い興味を持つ。歴史的空間を彩る「灯り」やコミュニケーションツールとしての「灯り」まで、人々の記憶に残るような「灯り」の提案、ものづくりが目標。

単なる照明ではなく空間演出の一部である「灯り」という点。吉野山のケースでは街灯デザインを統一し、同じ高さのものを山道に沿って出来るだけ等間隔で設置することで空間に一体感をもたらした。さらにあくまでも主役は空間であるため、主張しすぎないデザインや蝋燭の炎の色を意識した照明を心がけたそう。当然山道なので足場の確保などがしにくいことから、メンテナンスもできるだけ簡単に行える構造に。風景との調和から設置後のことまで考え、ゼロからアイデアを形にできるのは自社でデザインから製造、設置までを行

えるからにはかならない。街灯の取り替え後は地元の人からも「夜道が明るくなった。灯りを見るとホッとする」との声が多く、まちづくりにも役買っている。

人を集める「灯」の力

古来より人々は火を囲み、灯りの元を集って談話を楽しんだ。それは現代においても変わらず、私たちの暮らしの中心には灯りがあると一言でも過言ではないだろう。これは昔から地元の人や参拝者が集まる寺社も同じで、人と人、地域と人を結ぶ役割を担う寺社だからこそ灯りの重要性を意識する必要があるのではないだろうか。とりわけ昨今は災害の避難所として地域の寺社が利用されることも多く、そのため防犯・防災機能を兼ね、かつ格式や厳かさを引き立てる照明を取り入れる寺社も増えている。参道を照らす街灯から境内や屋内照明まで、寺社それぞれが持つ個性を引き出す灯りの実現は観光にも繋がり、地域振興の核となり得る。その先導役こそが地域の人が集う寺社なのではないだろうか。

【取材協力・お問い合わせ先】

日本街路灯製造株式会社 大阪支店
〒556-0005
大阪市浪速区日本橋5-13-9
TEL:06-6632-3934
<http://www.gairoto.co.jp/>



(上) 鐘楼内の梵鐘 (右) 勾欄付きの縁と、はかまをはいたような形が特徴的な鐘楼
(左上) たくさんの梵字がはっきり残る鐘身。これだけ数多くの梵字が刻まれた梵鐘は、国内の作品としては大変珍しいという
(左下) 釣り手の龍頭



臨済宗

妙心寺派 戒壇院

〒818-0101

福岡県太宰府市観世音寺5-7-10

TEL.092-922-4559

<http://www.geocities.jp/kaidanin925/>



梵鐘

天下三戒壇に悠久の音を響かせる県指定文化財

東大寺(奈良県)、薬師寺(栃木県)と並び「天下三戒壇」の一つに数えられる戒壇院。761(天平宝字5)年に聖武天皇の命により開山された。一時期は衰退したが、1669(寛文9)年のご本尊修復を機に、博多で酒造りを営んでいた白木玄流の遺言によって1701(元禄14)、梵鐘と鐘楼が寄進された。

梵鐘の作者は、博多の鑄造師・磯部七兵衛正慶。今にも動き出しそうな釣り手の龍頭、乳廓の配置など朝鮮鐘を忠実に模したデザインは、日本金工史にとっても極めて大きな遺産となっている。特筆すべきは、全面に施された梵字だ。金剛界四仏、四天王、十二神将の各種子を鑄出。さらに、二十四文字の光明真言が六字ずつ四方に配されている。

第二次世界大戦期、日本各地の梵鐘が軍に供出されたが、この類いまれな意匠や歴史的価値の高さが評価され、現代に生き残った。「難を逃れたのも、何か意味があつてのこと。毎年大晦日には、ご参拝者様が除夜の鐘をつきにいらつしやるように、お寺に来ていただくきっかけになれば嬉しい限りです」と森不副住職。梵鐘は、鐘楼内部に吊るされているので普段表には出ていないが、希望すれば間近に見学できる。

安産願う人々を優しく見守る母神さま 聖母宮御神像



(右上)県有形民俗文化財指定の聖母宮御神像

(右下)聖母宮御神像が奉安されている聖母宮
(上)本殿奥には、「安産の鎮め」として納められている「子安の石」が山と積まれる
(下)湯方社(ゆのかたしゃ)。「助産師の祖神・湯方殿」を祀る全国唯一の神社



うみはちまんぐう 宇美八幡宮

〒811-2101
福岡県糟屋郡宇美町宇美 1-1-1
TEL.092-932-0044
<http://www.umi-hachimangu.or.jp/>



福岡県糟屋郡宇美町のほば中心に鎮座する宇美八幡宮。神功皇后が應神天皇をご出産された由縁から、この地を「宇瀨」、「産」|| 「宇美」と称するようになり、御生誕の聖地として570年ごろに創建されたと伝えられる。いにしえより「安産と育児の守り神」として崇敬されており、「戌の日」ともなれば、社殿に入りきれないほどの祈願者で賑う。はつと目を引く白き肌、何人をも包み込むような柔らかなまなざし。聖母、神功皇后のお姿を模した「聖母宮御神像」は、本殿右後方に鎮座する末社「聖母宮」の御神体として奉安されている。作者は不詳だが、脱活乾漆造(頭部は木造)、彫眼、髻を高く結い、神衣を纏ってその上に瓔珞を付けている。沓をはき、右手に宝珠を持たれた総高151cmのお姿で、中世に造られた日本唯一の脱活乾漆造の御神像である。

通常は御扉が閉められ、25年に一度のご開帳の時を待つ。次は2年後の2018(平成30)年。現在老朽化が進む社殿の修理と、御神像並びに随神像のお色直しを計画中だ。伊藤佳和宮司は、「前回は約ひと月ほどしか見ることが出来なかったが、次回はできるだけ長い拝観期間を検討中」という。



インタビュー

東北観光推進機構会長
東日本旅客鉄道（JR東日本）取締役会長

清野 智

東北の観光に
ストーリーと連携を
持たせる

編集部 日本全体を見ると、2015（平成27）年の訪日外国人の数が前年比で47%も伸びている一方、東北に限っては全国シェアでもごくわずかという現状があります。そういった中で、現在は東北観光推進機構の会長をなされ、またJR東日本の会長のお立場としてこれまで取り組まれてこられたこと、あるいは今後どのような取り組みを考えておられるのかお聞かせ下さい。

清野会長 おっしゃるとおり東北へのインバウンドは、2015（平成27）年にようやく震災前

のレベルに戻ったばかりで、全国シェアは1%を切っているのが現実です。

東北のインバウンドの数字が伸びていない原因は2つあります。ひとつは、これまで東北各県が一体になれていなかったことです。各県に空港はあるものの東北全体としてのPRは不足しており、効果的なLCCの就航などにつなげることができていませんでした。もうひとつは、ひとりの中国人観光客に代表されるような、ショッピングを主目的に旅行には地理的に適していないことです。

そこで、東北観光推進機構が中心となり、ストーリー性を明確にした観光周遊ルート『日本の奥の院・東北探訪ルート』を地域の

皆様と策定した結果、昨年夏に国土交通大臣の認定を受けることができました。また、本年4月に東北観光推進機構とJR東日



4月に開催された「観光で東北を元気にするシンポジウム」東北6県知事、観光庁長官とのフォトセッション



3月に開業した北海道新幹線
函館と仙台を2時間半で結ぶ

本が共催したシンポジウムにお

いて、参加した東北6県・新潟県の各知事や経済団体トップと、東北が一体となって受入環境整備やプロモーションを推進していくことを確認しました。8月末には各知事が揃って台湾でトップセールスを行う予定です。

本年3月に開業した北海道新幹線は、函館から仙台を2時間半で結びます。7月に運営が民間化された仙台空港には、待望のLCCが就航をはじめていきます。たくさんのお客さまに東北を訪れていただけるよう、交通機関どうしでも強気に連携を強めて

まいります。

編集部 私共も社寺を観光資源として、しっかりと活用していきたいという思いがあります。海外の方に日本文化を理解してもらう上でも社寺は非常に適していると思うのですが、清野会長は社寺についてどのように考えておられるのかお聞かせください。

清野会長 私は、社寺は日本人の故郷だと考えています。私達の小さい頃は、どの村でも近くの神社で夏祭りがあり、お寺にはお葬式でお世話になるということが先祖を敬うことにつながっていましたから、社寺は日本人にとって不可欠なものだと思います。そのような社寺の在り方を損なわずに観光の要素をプラスさせていくことが私は大事だと思います。

奈良や京都にある社寺のように観光客で賑わうのも素晴らしいことではありますが、東北にはもっと根源的な社寺との関わり方が今でも残っていて、例えば出羽三山などがそうで、お参りをメインにしながらも、実は観光スポットとしての魅力にも溢れている社寺がたくさんあります。福島県の建築物では唯一の国宝で

あるいわき市の白水阿弥陀堂、白虎隊の他に「仏都會津」として有名な会津には高僧の徳一が平安初期に建てた慧日寺、青森県の弘前に行けば津軽家の菩提寺である長勝寺など、東北のあちこちに点在しているだけに、それぞれを回っていただくには大変な面もあります。ですから、あるキーワードで繋いだ「ストーリー」が大事になってくると考えています。

JRが宣伝に協力してきたモデルコースとして、松尾芭蕉が「奥の細道」で巡った『四寺回廊』があります。円仁が建てた中尊寺、毛越寺、瑞巖寺、立石寺の4つの寺の御朱印を集めて回れば、最後の寺の住職の色紙がもらえる、という内容です。日帰りでは少し厳しいので近くの温泉に立ち寄り、観光を楽しみながら松尾芭蕉と同じような体験が味わえるのです。このような取り組みを、東北全体で進めることが大切だと思います。

文化の継承と合せて 社寺へ期待すること

編集部 観光地化してきた社寺についてのお話がありました。外国人の中でも特に欧米の人た

ちは歴史の古い物を見慣れているため本物志向があり、あえてそういった社寺ではないところを目指すと聞きました。また、案内を充実させることが大事だと思いますが、バスの標識に外国語の表記とルート解説があれば外国人も不安なく乗ることができ、実際に山形の蔵王では成功しているそうです。

清野会長 交通事業者や自治体や社寺などが受入態勢整備のレベルを上げていくことは大事ですが、バラバラではかえって逆効果になることもあります。地域全体を俯瞰し、「ストーリー」と「ユーザー目線」を十分に意識して進める必要があります。

編集部 最後に、社寺に対して期待されていることなどがございましたらお聞かせください。

清野会長 有名な社寺にあまり俗化してほしくない気持ちはあります。しかし一方で、もう少し解放してくれたら、とも思いますが。せっかく綺麗な庭があり、歴史があり、貴重な仏像がある訳ですから、もっと見せて欲しいという想いはあります。例えば、562（欽明天皇23）年に誕生

した蜂子皇子が都から落ち、山形で入滅されて即身仏になったという話があります。出羽三山神社に墓があり、大型観光キャンペーンの期間限定で特別公開していただきました。

自分たちの文化をどのように守っていくのか、どのようにオープンにしていけるか、バランスを保つのは極めて難しいと思います。しかし、他の地域に先駆けて進む人口減少と、震災からの復興に立ち向かう東北にとって、即効性のある観光振興による地域の活性化は不可欠です。地域社会とともに歩む社寺関係者の皆様には、地域社会の発展のため、さまざまなご協力をお願いしたいと思います。

清野 智

東北観光推進機構会長
東日本旅客鉄道株式会社取締役会長

昭和22年宮城県仙台市生まれ。昭和45年東北大学法学部卒業、日本国有鉄道入社。昭和62年東日本旅客鉄道株式会社入社。平成18年同社代表取締役社長。平成24年より同社取締役会長。平成27年より東北観光推進機構会長

職人技

伝統と文化を継承する職人名鑑

伏見稲荷大社御用達としての 大きな誇りと使命感を胸に



4



1



5

1. 現在、工房では当主の長谷川さんを含め8名の職人が活躍中
2. 多くの参拝者で賑わう伏見稲荷大社の本殿
3. 幻想的な雰囲気すら漂う千本鳥居は、伏見稲荷大社の象徴
4. カンナがけする職人の顔つきは真剣そのもの
5. 削り作業一つをとっても、様々なカンナが用いられる
6. 光明丹(こうみょうたん)と呼ばれる顔料を塗り重ねて独特のツヤを出していく
7. 光明丹の粉。油との配合の割合も天候や季節によって微調整する
8. 第26代目当主を務める、長谷川寛さん



8



6



2



7



3

伏見稲荷大社御用達
宮大工 長谷川工務店
 〒605-0981
 京都府京都市東山区本町
 22-508
 TEL.075-561-2013
<http://ameblo.jp/hasegawa-torii/>

全国に3万社ある稲荷神社の総本宮・伏見稲荷大社の象徴が、トンネルのように連なる光景が圧巻の「千本鳥居」。長谷川工務店は同大社唯一の御用達宮大工として、奉納者の要望に応じて様々な大きさの鳥居製作を手がけている。

昨年11月から第26代目当主を務める、長谷川寛さん。「物心ついた頃から、夜遅くまで仕事に没頭する父親の姿を見て育ちました。いつか継ぐことになるとは思っていましたが、いざ当主となると、改めて身の引き締まる思いですな」。

鳥居製作の第一歩となるのが、材料となる杉の木の選定。「冬の寒さに備え、木目の詰まる秋に切った杉のみを使用します。経年変化を考慮して節がなるべく少ないものを選ぶなど、こだわりを言い出せばキリがありませんね」。

鳥居の大きさは柱の号数(太さ)で表記され、人のくぐれる最小の大きさは5号(1号≒約3cm)。11号以上のものになると材料が極端に入手困難となり、時には山の所有者に直接交渉して伐採許可を得ることも。「妥協してしまえば、進歩はそこで止まってしまいますから。先祖代々受け継がれてきた技術をしっかりと継承し、後世に伝えていくために日々精進あるのみです」と瞳を輝かせる長谷川さん。心強い職人集団と共に、さらなる高みを目指す日々は続く。

寺社を活性化させる
キーパーソンに聞く



日蓮宗越谷布教所 源妙寺上人

渡邊 源昇

1987(昭和62)年、長崎県長崎市生まれ。中学時代、親しかった「お坊さん」の姿に感銘を受け、15歳で出家。日蓮宗総本山身延山久遠寺での修行後は、東京都杉並区本山堀之内妙法寺へ移り、立正大学で学ぶ。その後、いくつかの奉職を経て、27歳で日蓮宗2人目となる国内開教師の任命を受ける。

お寺は一戸建て住宅 開かれたお寺の 新たな試み



毎月第3日曜日に開かれる「写経の会」には、平均10名程度の人が訪れる。



支援者の声で開かれることになった「お灸教室」。準備から後片付けまですべて参加者で行う。

檀家を持たない開かれたお寺を目指す

近年、都心へのアクセスの良さと落ち着きのある住環境から、その魅力が再認識されつつある埼玉県越谷市。閑静な住宅街にあったのは、新しいお寺と次代を担う「お坊さん」の姿だった。

由緒ある建物もなく、立派な山門もない、ファミリータイプの2階建て一戸建て住宅。大きく開け放した玄関から現れたのは、渡邊源昇上人。「仏門に入ったのは15歳のとき。私は小学生のときに姉を亡くしているのですが、孤立していた私を近所のお坊さんが受け入れてくださったことが人生の転機でした」。そんな渡邊上人が、日蓮宗の「国内開教師」として越谷にやってきたのは、2014(平成26)年7月のこと。「国内開教師の役割は、希薄になったお寺と人々とのつながりを再び結ぶことです。檀家をもたないスタイルで、開かれたお寺を目指しています」。

地域に根ざすためには、双方向の関係が必要

お経を唱える道具以外の備品すべてが地域の方から奉納されたものだという源妙寺。開催のたびに好評を博するお灸教室や写経の会なども、支援者が主体となって行っている。「今でこそ、都心からも相談者がやって来ますが、開堂当初はほとんど人が来ませんでした。最初の頃は、私が皆さんにお茶を出し、説法をする…いわば“一方通行”のお寺だったのだと思います。そんな源妙寺の姿を諸先輩方に相談するうちに、地域に根ざすためには、お寺と訪れる方々に双方向の関係が必要だと思ふようになりました」。

お寺は“現世のことをリセットする場所”と考える渡邊上人。「訪れる人それぞれが、掃除や準備などのお勤めをすすんで行き、心を正してから日常に帰る。その繰り返し、暮らしを豊かにする…本来のお寺の役割とは、そういうものかもしれません」という。

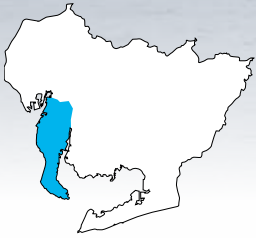
源妙寺を尋ねたとき、玄関の戸は大きく開いていた。その理由を聞くと「皆さんに来ていただきたいから…」とこやかに笑う。誰にでも開かれた扉は、地域に寄り添う「お坊さん」でありたいと願う渡邊上人の志そのものなのかもしれない。



日蓮宗越谷布教所 源妙寺

〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町 2-176-19
TEL.048-961-8842 <http://nichirensyu-koshigaya.com/>

知多四国霊場会



今からおよそ1200年前の814(弘仁5)年、弘法大師が諸国行脚の途中に逗留し、護摩修法して伊勢路に向かったという伝承をはじめ、弘法大師の霊跡が数多く残る愛知県知多半島。ここに、2018(平成30)年に開創210年を迎える『知多四国霊場』がある。開山所と番外を含めて98の札所から成立するこの霊場についてお話を伺った。

会長 加藤 大道(圓観寺住職)
事務長 磯部 順基(洞雲寺住職)



『知多四国巡礼』著:知多四国霊場会 出版社:歴遊舎 発行:2013年



2016(平成28)年度版の知多四国霊場会のポスター



(右)会長 加藤 大道(圓観寺住職)
(左)事務長 磯部 順基(洞雲寺住職)

顔と顔を見て対話できる札所巡りが「巡礼者とお寺との縁を結ぶ」とクチコミで話題に

編集部 はじめに『知多四国霊場』開山の由来をお教えください。

磯部 順基 事務長 1809(文化6)年に、亮山阿闍梨が弘法大師の夢のお告げをお受けになった。「知多は我が悲願の宿縁の地、知多八十八ヶ所の霊場を開くべし、その開創に二人の道僧を遣わす。三人力を合わせてこの大業を成し遂げよ」と。亮山阿闍梨はこれは知多四国八十八ヶ所霊場を作れというお告げだと確信し、同年3月18日より知多四国札所の設置に奔走された。そして亮山阿闍梨は1818(文政元)年に武田安兵衛、1819(文政2)年に岡戸半蔵の2人の行者と出会い、1824(文政7)年について知多四国霊場が完成しました。ただ、この時の知多半島には真言宗の寺院は30しかなかったため、曹洞宗、天台宗、浄土宗、時宗、臨済宗などの他宗派寺院にお願いし、岡戸半

人と人との対話やつながりに縁という尊さが見える

編集部 近年は鉄道会社の名鉄と提携し、知多四国霊場全98ヶ寺を約1年3ヵ月、18回に分けて巡拝する『歩いて巡拝知多四国』が好評とお聞きしています。

磯部 事務長 知多四国霊場は大きな宣伝はしていないのですが、



知多四国霊場の納経帳。最初はスタンプラリーのようなつもりで廻り、何度か巡るうちに功德の証に

不思議なくらいお参りがたくさんありまして、年間5万人近くの方々がお越し頂いておられます。『歩いて巡拝知多四国』も最初は参加者が200人いたかないかでしたが、2巡目からは1000人近くになり、3巡目くらいから2000人を超えるほどになり、それ以上の参拝者様をお迎えした回数もありました。

編集部 今年で11巡目(回目)を迎えるこの企画が好評なのは、どのような理由があるとお考えでしょうか。

磯部事務長 私ども札所巡りの納経帳は最初から印刷しており、宝印を押せる方がいれば授与して頂けるようになっており、昔

からご住職が不在であっても、お寺の家族が宝印を押す納経所を設置しています。参拝者は、必ずお寺さんと顔と顔を見て対話できるので「親しみがあつていい札所巡りですね」と言ってお帰りになられる。このようなご縁がありがたさや尊さとして見えているのでしょね。今では遠方からも多くの方々が来られます。

編集部 全国で活発にご活躍されている霊場もあれば、現在になつていないところもあるようですが、こちらではどういうところにご努力をされていますか。

磯部事務長 『人と人とのつながり』を大切にしています。前に来られた方がそのお寺の良さを知りクチコミを広げてくださると、「私も行ってみたい」となりまして、寺院の対応が良ければ「また来てみたい」と思つて頂ける。霊場巡りで納経帳に宝印を押すときも、お寺さんからの「よくお参りいただきました」「どこからお見えになりましたか」の一言からコミュニケーションが生まれたとか、言葉掛けて頂いたの心が和んだとか、そのようなお声を頂きますが、そんなことが一番の魅力なのかもしれませんね。

加藤大道会長 確かに言葉がけはとても大切ですね。私も納経所にいる時はできる限りお声がけしています。参拝者からは「お話ができてよかった」「ご住職と話せてよかった」と言っていたので、ある意味、お声がけで「縁が結ばれた」といえるでしょう。

宗教や行政、 企業の枠を越え 地域を挙げて外に発信を

編集部 今、霊場会として自治体や行政、企業、団体へのご要望などございますか？

磯部事務長 名鉄さんとの協力もそうですが、お互いに助け合うこと、お互いのいい部分を出し合つてその場所に来ていただくことを目指すのが何よりのことかと思ひます。先日、知多半島観光協議会と「知多四国開創210年」について話しましたが、知多四国霊場というものをもっと活用して貰つて(知多半島の)5市5町が潤っていく方策、5市5町と霊場会がもっと協力していく方策などが欲しいですね。それが一番お願いしたいことです。例えば、商品に知多四国という名前を入れたり、キャラク

ターを刷り込むこともいいですし、「地域を挙げて外に発信して行くこと」をPRするため地域と霊場会が結束していることを発信するというのも、大事なことでだと思います。



天台宗 **法輪山 圓観寺**

【知多四国霊場会 会長】
〒470-2531 愛知県知多郡武豊町富貴郷北97
TEL.0569-72-0511



西山浄土宗 **御嶽山 洞雲寺**

【知多四国霊場会事務局】
〒479-812 愛知県常滑市井戸田町2-37
TEL.0569-35-2705 <http://park23.wakwak.com/~tounjji/>

知多四国霊場会ホームページ <http://www.chita88.jp/>

知多四国霊場会会員寺院一覧

1番	曹源寺	50番	大御堂寺
2番	極楽寺	51番	野間大坊
3番	普門寺	52番	密蔵院
4番	延命寺	53番	安養院
5番	地藏寺	54番	海潮院
6番	常福寺	55番	法山寺
7番	傳楽寺	56番	瑞境寺
8番	福徳寺	57番	報恩寺
9番	明德寺	58番	来応寺
10番	観音寺	59番	玉泉寺
11番	安徳寺	60番	安楽寺
12番	福住寺	61番	高譲寺
13番	安楽寺	62番	洞雲寺
14番	興昌寺	63番	大善院
15番	洞雲院	64番	宝全寺
16番	平泉寺	65番	相持院
17番	観音寺	66番	中之坊寺
18番	光照寺	67番	三光院
19番	光照院	68番	宝蔵寺
20番	龍台院	69番	慈光寺
21番	常楽寺	70番	地藏寺
22番	大日寺	71番	大智院
23番	蓮花院	72番	慈雲寺
24番	徳正寺	73番	正法院
25番	圓観寺	74番	密蔵寺
26番	彌勒寺	75番	誕生堂
27番	誓海寺	76番	如意寺
28番	永寿寺	77番	浄蓮寺
29番	正法寺	78番	福生寺
30番	醫生寺	79番	妙楽寺
31番	利生院	80番	栖光院
32番	宝乘院	81番	龍蔵寺
33番	北室院	82番	観福寺
34番	成願寺	83番	弥勒寺
35番	性慶院	84番	玄猷寺
36番	遍照寺	85番	清水寺
37番	大光院	86番	観音寺
38番	正法禅寺	87番	長寿寺
39番	影徳院	88番	円通寺
40番	妙楽寺	89番	妙楽寺
41番	西方寺	90番	禅林堂
42番	天龍寺	開	葦航寺
43番	岩屋寺	開	海蔵寺
44番	大室寺	開	東光寺
45番	泉蔵院	開	影現寺
46番	如意輪寺	開	西方寺
47番	持宝院	開	浄土寺
48番	良参寺	開	奥之院
49番	吉祥寺	開	曹源寺

開 開山所 外 番外札所

宿坊の魅力在国内外に広めるための大規模プロジェクト 『宿坊創生プロジェクト』始動!!

近年若い女性を中心に人気を博している宿坊体験。日本はもとより日本文化に興味を持つ外国人観光客からも熱い視線が注がれています。宿坊が注目を集めている今、地域の活性化も含めて国内外の人々に「宿坊の魅力を知ってもらい、より多くの人に足を運んでもらう」ことをテーマに取り組んでいるのが、『宿坊創生プロジェクト』。より魅力的な宿坊を創生し、歴史と伝統文化が凝縮した「寺社と宿坊、その周辺地域」の魅力を国内外に発信するこのプロジェクトについてシリーズでご紹介します。

グローバルな視点で宿坊の魅力を紹介

「宿坊創生プロジェクト」が手がける宿坊創生事業。その活動は次の3つのテーマを柱に進められます。①宿坊を中心とした地域滞在型の観光を推進し、日本人・外国人を地方へ勧誘することにより地域を活性化すること。②増え続ける訪日外国人に対し、宿坊の新設をサポートして宿泊施設不足を解消すること。③宿坊サイトやSNSなどの発信により宿坊そのものの魅力発信、正しい知識の伝達、宿泊者の集客、また言語アプリによる多言語対応などのグローバル対応。これらを寺社や地域と連携して進めるのが『宿坊創生プロジェクト』です。

その第一歩として、2017(平成29)年3月(予定)に江戸時代よりなわ文化・寺社文化を現代にまでつないでいる大阪の下寺町に『和空下寺町(仮称)』をオープンします。ここでは宿泊はもちろん、地域文化との交流的に開催し、下寺町ならではの文化体験が楽しめる空間作りを展開していきます。

先日、中国の国家テレビ局『中国中央テレビ(CCTV)』にて宿坊創生プロジェクトが紹介されました。こういった海外マス



(上) (中) プロジェクト第一弾として、2017年3月にオープン予定の、文化体験×宿泊施設「和空下寺町(仮称)」の完成イメージ

(下) 中国の国家テレビ局「中国中央テレビ(CCTV)」による取材の様子

ダイアへの取材対応も含め、世界へ向けて宿坊文化を伝えていくのが、このプロジェクトの役割だと考えています。

多彩なサポート体制で広い層に情報を発信

そのほか、宿坊創生プロジェクトは「宿坊の新規開設」や「宿坊を中心としたパッケージツアーの展開」、「プロモーション活動や集客のお手伝い」もいたします。新規開設では宿坊開設に必要な法律・税制、建築といった専門知識から備品供給までをパッケージ化してご提供し、ツアー展開では企業との連携で地域の魅力も合わせて体験できる内容

を考案、さらにWEBサイトやSNSを活用して国内外へ宿坊の魅力を発信し、集客へとつながります。神社仏閣をはじめとする宿坊の運営改善や新規開設をご検討されている多くの方々に、ぜひとも『宿坊創生プロジェクト』の今後の展開にご期待ください。

【お問い合わせ先】
株式会社 和空プロジェクト
TEL.06-4801-8211 <http://waqoo-pj.jp>
監修:一般社団法人 全国寺社観光協会

「和空下寺町(仮称)」の外観完成イメージ

熊本地震から見た宿坊による減災の可能性

寺社旅研究家・宿坊研究会代表／堀内克彦



お寺にある災害時用備蓄倉庫



自民党観光立国調査会

様々な被災者支援のあり方

2016年4月に発生した熊本地震。私も被災地支援を行っているいくつかの仏教系団体に寄付させて頂きましたが、寄付先を探す過程で様々な支援のあり方を目にしました。

その中で注目したのは、被災者の一時受け入れについては、熊本県を始め、九州各地のホテルや旅館で被災者の受け入れが行われました。特に高齢者や障がい者など、特別な配慮が必要な方は優先的に手配されています。また、私が見た限りでは浄土真宗寺院が一時避難先として、大きく呼びかけられていたようでした。参加寺院数は不明ですが北海道までお寺が加わり、Facebookを通して多くの方に拡散されています。

他にも民泊仲介サービスとして有名なAirbnbも、被災者を無料で受け入れるホスト支援に乗り出しています。仲介料をゼロにしたことはもちろん、通常のカスタマーサポートも提供され、こちらも支援ホストにお寺が一軒名乗りを上げていました。

災害支援基盤としての宿坊

振り返ってみれば東日本大震災

災が発生した日も、帰宅困難者のために建物を開放した寺社はありました。3・11以降、日本では行政と寺社が防災協定を結ぶ例も急速に増えています。

先日、自民党本部ビルで観光に携わる議員や秘書の方などに『宿坊の現状と未来予測』という講演をさせて頂きました。その中で宿坊が活躍できる領域も述べてきましたが、この災害対策もテーマのひとつに挙げています。通常は宿泊施設として運営しながら、いざという時には災害支援のインフラにもなる。これは寺社にとっては負担ですが、日常的な行政との連携が得られる点でメリットにもなります。そして何よりお寺や神社が人を救う場であると、多くの人に認識される材料にもなるでしょう。

熊本地震後、実際に現地入りし、支援物資をまとめて送ったお坊さん、神主さんの活動はたくさん見受けられました。一般の方がボランティアに立つのと異なり、被災地域の寺社と連携しながら円滑な支援が差し伸べられるのは、お寺・神社の大きな強みです。宿坊が防災・減災の一機能を担うことは、日本全体にとっても希望の持てる話になります。

宿坊新規開設をご検討の寺社様・運営に関するお悩みを抱える宿坊様へ

- サポート1** 宿坊開設の計画・立案から、各種手続きなどトータルでサポートします。
- サポート2** 営業開始後も継続的に集客プロモーションなど運営についてもサポートします。

■お問い合わせ先

株式会社和空プロジェクト 〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-13 AXIS 南森町ビル9F
TEL: 06-4801-8211 FAX: 06-4801-8221 <http://waqoo-pj.jp>

監修：一般社団法人 全国寺社観光協会

ほりうちかつひこ
堀内克彦
プロフィール

寺社旅研究家・宿坊研究会代表。

「人生を変える寺社巡り」がテーマの寺社旅研究家。各地で寺社活性化・地域活性化の講演を実施し、寺院コンサルタントとしても活動中。著書に『宿坊に泊まる』（小学館文庫）、『ころ美しく京のお寺で修行体験』（淡交社）、『恋に効く！ えんむすびお守りと名所』（山と溪谷社）など。

宿坊ポータルサイト「和空」に掲載されている注目の宿坊をピックアップ。
宿坊開設までの歩みから運営・サービスまで、さまざまなお話を伺います。

奈良県

信貴山 玉蔵院



写真右:信貴山 玉蔵院の外観
写真上・下:個室と大広間



宿坊を運営する野澤密孝貴主

宿坊トピックス

Q.平成25年の寺務所建て替えと宿坊改修工事に関して留意した点

A.老朽化によって建て替えたが、鉄筋建築ながらも木造のように仕上げ伝統ある内外装にこだわった。また、以前の建物に使用していた襖など古材を積極的に利用している。

Q.外国人利用者の割合

A.全体の1~2割。ヨーロッパをはじめアジア各国からホームページを見て訪れる個人旅行者が中心。布団や大浴場の使い方などマナーは英語で説明している。

主な体験内容

写経・写仏・法話・観法・坐禅・護摩祈禱 等

住所: 〒636-0923
奈良県生駒分平郡町信貴山
TEL: 0745-72-2881
URL: <http://www.gyokuzo.com/>
客室数: 40室
収容人数: 200名
主な施設: 大浴場、中庭、茶室

聖徳太子によって開かれた日本最初の毘沙門天ご出現霊場として知られる信貴山朝護孫子寺。江戸時代から宿坊として親しまれてきた塔頭玉蔵院は、自然に恵まれた立地を生かした静かな空間。大正時代と平成の世、それぞれに建てられた宿坊は建て替え前の古材を随所に取り入れ、歴史の長さを感じさせる造りとなっている。

由緒ある寺でありながらも宿坊に関しては非常にオープンで、参拝や修行体験を目的に訪れる人はもちろん、観光が目的の人にも広く開放されている。現在は毎年定期的を訪れる信者のほか、日本の伝統ある場所での宿泊したいと希望する約2割近くを占める外国人観光客まで、国内外から多彩な宿泊客がやってくる。海外からの宿泊客は主にインターネットで情報を得て足を運ぶ。言葉や文化の違いはあるものの、住職や僧侶が基本的な利用法を説明することで特に問題などは起きないそう。宿坊内にはMCU完備の談話室もあり、ネット環境が整っているのも現代的。また、料理も精進料理だけでなく会席料理も楽しむことができる。野澤密孝貴主曰く「世の流れにに応じた変化は必然。しかしその根底にあるのは布教であり、宿泊することで心癒され非日常の時間を味わってもらえ

また、玉蔵院の魅力はその規模にもあり、最大200名収容できる大広間から1人客や家族連れに対応した個室までを備えている。最近では修行や写経体験を望む女性客も多く、まずは宿泊客が何を求めて訪れたのかを知るため、チェックイン後に抹茶でもてなし、コミュニケーションを図るそう。大人数の宿泊客に対応するため、業務が朝早くから始まり、夜も遅くなるなどの運営上の苦労もあるが、「泊まる」「体験する」だけでなく、このような細やかなおもてなしの精神が、リピーターや何代にも渡って訪れる顧客を惹きつけてやまない理由と言える。

時代の流れに応じて 柔軟に姿を変える宿坊

たら」という柔軟な姿勢を貫く。実際に宿泊客の大半が朝の祈禱に参加し、また写経や阿息観、阿字観などの瞑想も多くの人が体験して、宗教の教えに触れて宿を後にするのだろうか。

静岡県

禅の湯

「育」をコンセプトに 多彩な宿坊体験を展開



写真右:敷地内から湧いている天然温泉を使った露天風呂。循環なしの掛け流し
 写真上:10畳のお部屋。2011年にリフォームされたお部屋は全て和室 写真下:右の奥が禅の湯。左は隣接する慈眼院



ミダカ漁港前の魚屋から仕入れる朝採りのお魚を提供(オプション)

宿坊開設までの歩み

- 2005年3月**
禅の湯として登記及び温泉の掘削開始する
- 2006年8月**
建物の全面リニューアル工事を開始
- 2007年9月**
宿坊として営業をスタート

主な体験内容

坐禅・ヨガ・タイ古式マッサージ 等

住所: 〒413-0501
 静岡県賀茂郡河津町梨本 28-1
 TEL: 0558-35-7253
 URL: <http://zen-no-yu.com/>
 客室数: 14室
 収容人数: 40名
 主な施設: 大浴場、露天風呂、岩盤浴、食堂、BBQ用テラス

伊豆天城山の懐、毎年100万人が訪れる「河津桜」で有名な静岡県河津町にあるのが、宿坊禅の湯。鎌倉時代に創建された慈眼院に併設された禅の湯は、「おばあちゃんの家のようでありたい」という姿勢でホスピタリティにこだわり、新しいスタイルの宿坊を確立している。元々、慈眼院では青少年の健全育成などを目的に、ユースホステルを営んでいた。時代の流れとともに一時は閉館も考えたが約10年前、ご住職の奥様の「温泉に入れる暮らしたい」という夢を叶えるために温泉掘削を開始。3回目にして、良質の温泉が湧いたことから、奥様と長女

の稲本雅子さんが家族会議を開き、「リニューアルして次世代へ繋がる宿泊施設を」と決断した。禅の湯のこだわりは、「宿泊客を家族のように受け入れる」ユースホテルの精神を受け継ぎつつ、新しい宿坊のスタイルを提案する点。「人を思いやる心、人との関わり方などは寺としての役割を受け継いでいきたいですね」と稲本さん。その1つが「育する」コンセプト。禅の湯で学び、自分の力を蓄えて、自分の夢に進んで行く「夢を育する」、地元の人と活性化を図る「地域を育する」など、さまざまなテーマの「育する」をサポートしている。また、食事・宿泊場所と知

識・経験を交換する「ウーファー協会」にも登録。フランスやカナダなどの外国人を受け入れる代わりに、外国人は地元の子どもたちに英語を教えるなど、交流の一翼を担っている。このほか、そっとしておいて欲しい人の「おこもり」、悩みを聞いて欲しい人の「あなたの話しお聴きします」など、個性的なプランを展開。「ここはお寺を分解して、わかりやすく提案している場所。心が軽くなったり、温かくなったりできる場所でありたい」と稲本さんは語る。

平日の平均稼働率が約8割で、そのうち1割は外国人が占めている。多様な人々を受け入れるホスピタリティ、そして宿の魅力を集客につなげる経営能力。その両輪に支えられて禅の湯は今、いろいろな価値を提案する地域創生の立役者としての道を邁進している。



風まかせ 10

野田博明



セクシー、そんなこんな弘法大師 その二

そんなこんな空海、最近、「誕生したのは母方の実家である河内の渋川郡跡部郷（八尾市）、平安遷都の後、育つたのは京都」との考察（武内孝善高野山大学教授）が注目を集めている。讃岐に母の出自である阿刀氏在地の痕跡が見当たらず、空海生誕の宝亀5年（774）頃の婚姻形態が妻問婚であったことなどを論拠とする。その傍証とも云うべき阿刀氏の祖神を祀る跡部神社が今も八尾の地に鎮座し、『三教指帰』の初稿を書いたとの伝承を残す京都の嵯峨広沢の地に阿刀神社が建つ。さらに、金閣寺のすぐ東の上品蓮台寺には空海の母の墓と

伝わる阿刀氏塔と呼ばれる五輪石塔が建っている。また、『続日本後紀』の空海卒伝（承和二年（835）没）に「一五歳の時、叔父阿刀大足（桓武天皇皇子の侍講）に付いて書物を読習し、一八歳の時大学に入った」とあり、空海の薫育に阿刀氏が強く関与したことが当時既に周知の事実であったことが窺える。その阿刀氏とは、神武東征以前に大和随一の豪族であった物部氏と始祖（饒速日尊）を同じくする名族であった。物部の系譜を語る『先代旧事本紀』は、饒速日尊が河内国哮峯に天孫降臨・大和侵攻をした際、阿刀氏の祖・天津麻良が天磐船の楫取と

いう重要な役割を担ったと記している。

一方で、『日本書紀』の崇峻即位前紀七月条は蘇我馬子らが物部守屋を阿都の別宅（渋川郡）で滅ぼす様子を活写している。その丁未の乱（587年）を境に物部枝族の阿刀氏も政界の一線から一掃される。そこで、生き延びる方策として探り当てたのが当時の先進的思想、ハイカラな哲学と云うべき仏教の世界であった。呪術や祭祀が政治の中心に坐る時代、呪術的要素を多分に蔵する仏教は、政治の表舞台から駆逐された一族にとって裏面から権力を操る格好のツールに見えたのであろう。

徐々に政治への容喙を強めた仏教は後に桓武帝が南都仏教界の影響を排除するほどに長岡京遷都を断行するほどに鎮護国家の法としての地歩を固めていく。『日本後紀』は、南都六宗のなかで法相宗のみが勢力を拡大し「教界が汚され、仏教の真理の追究が疎かになっている」と仏教界の墮落した様子を伝える。その隆盛を究めた立役者に「高僧六祖」と呼ばれる法相宗の名僧たちがいるが、その三人を阿刀氏出身者（玄昉・善珠・玄寶）が占める。さらに当時の宗教界の先駆者でもあった行基や東大寺開山の良弁（華嚴宗）、三論宗を本邦に伝えた道慈、道鏡（法相宗）らが師事した僧正義淵もその母が阿刀氏であることを知ると、この一族が仏教界

に周到に巡らしたネットワークに空恐ろしさすら覚えてしまう。片や佐伯氏も、弘法大師の十大弟子のなかに空海の実弟や甥のほか四名を輩出、大津・園城寺を天台別院として興隆させ第5代天台座主となった智証大師も佐伯方の姪の子という事実を重ね併せると、空海をめぐる両族が仏教界に宗派を問わぬ布石を打ち、巧妙な血の力学を築き上げていたことに気づく。物部氏は神道擁護者として仏教崇拝派の蘇我馬子・聖徳太子らにより排斥されたといわれる。しかし、物部氏の本貫の地であり、守屋が立て籠もった稲城跡（光蓮寺）や終焉の場所、墳墓など多くの守屋伝承を残す渋川郡から氏寺に比定される渋川廃寺遺構が発掘された。それ



6



7



8

- 1 阿刀氏の祖神を祀る八尾市の跡部神社
- 2 嵯峨広沢に建つ阿刀神社
- 3 上品蓮台寺に建つ空海の母の墓と伝わる阿刀氏塔
- 4 佐伯一門の智証大師が興隆させた園城寺(三井寺)仁王門(大津市)
- 5 物部守屋が立て籠もった八尾市の稲城址・光蓮寺
- 6 守屋と聖徳太子の古戦場に建つ大聖勝軍寺(八尾市)
- 7 物部守屋墳墓(八尾市)
- 8 早良親王が幽閉され、弘法大師が別当を務めた乙訓寺(長岡京市)
- 9 石塔寺(東近江市)の阿育王塔の前にて

野田博明 (のだ・ひろあき)

昭和26年4月生まれの64歳。昭和50年3月、東京大学卒業と同時に日本興業銀行入行。広報部長・管理部長などを経て、みずほホールディングス監査役などを歴任。平成23年に退任。一般社団法人 全日本社寺観光連盟 理事。趣味は神社仏閣巡りを兼ねた旅とグルメ。日本書紀など古代史が大好き。



9

は、物部氏が神道一辺倒ではなく新来の思想・文明の仏教を積極的に受容していたことの証であるともいえる。つまり、丁未の乱は世に言われる単純な神仏代理戦争ではなかった。閥閥として力を蓄えた新興渡来勢力の蘇我氏が一門の推古天皇や聖徳太子とグルになって、大和朝以前の大家族、いや、王統であった物部氏を倒す、旧王朝に取って代わる逆の意味の蜂起、クーデターであったのではないのか。前号で佐伯氏が聖徳太子など蘇我一族に謀殺された穴穂部皇子と血族や政治面で強い相関性があることに言及した。讃岐に威を張る航海術に長け、国際性に富む佐伯氏も同様に中央の抗争に巻き込まれ、歴史の大海の底に沈淪したに違いない。

(虐げられし者の怨念)からの解放をもとめ、思い究めた報復の術こそが、海外交易や国際性で培った豊かな富や卓越した語学力を武器に仏教界を牛耳ることであった。実際に両族が当初、利用した権力操舵装置としての仏教には、宗教の法理を究めることよりもある種世俗的な、時に強力な色気を意識させる、淫靡とさえ形容できる香りが濃厚に漂っている。その代表例が阿刀氏と同族の弓削道鏡である。孝謙上皇(聖武天皇の娘)の病を宿曜秘法という秘儀により完治させ、その寵愛を一身にうける。その結果、道鏡は太政大臣・法王・法皇の地位に昇りつめ、最後は皇位篡奪を謀ったとされる謎めいた事件である。また、その少し前には高僧六祖の玄昉が聖武天皇の生母・

藤原宮子の長年の鬱病を僅か一日の治療で快癒させたと『続日本紀』が記す。治療で仏法の業を修したのか、密室で何を起こしたのかは不明である。ただ、爾後、皇太后の募る恋情に乗じた玄昉は政治への関与を強め専横を極めるが、後に政敵によって失脚、死に追いやられている。さらに玄昉と宮子との間の不義の子との噂も流布された善珠も、冤罪で憤死した早良親王の怨霊の祟りで罹病した安殿親王(桓武天皇の皇太子)に般若の験を施し治癒させ、僧綱の最高位に任ぜられた。このように阿刀一族の高僧たちは内道場と称する宮廷内の仏殿において天皇や皇后の私的事務や病悩快癒につき祈祷、勤行に努め、天皇家の懐深く入り込んでいった。隔離された空間で呪詛や心霊術と

いったおどろおどろしくも妖しい秘儀が施されたことは、靈験に依存する時代、ある意味、必然の成り行きであったといえる。そんな外連味たっぷりの幻術的因子は空海の血のなかに確固として定着していた。留学僧として入唐した空海が、当時、長安の仏教界で最も影響力を有す、秘密の教えである密教に並々ならぬ関心を寄せ、その第一人者である真言密教第七祖・恵果阿闍梨(青龍寺)に師事したことは因縁の血筋をひく者の宿命の帰結でもある。初対面の空海に対して恵果は「一日千秋の思いであなを待っていた。直ぐに密教の灌頂(免許皆伝)をする」と告げた。そして、二か月余の短時日で胎藏界・金剛界両部の灌頂を授け、終には伝法阿闍梨位に昇らせ密教の正統

な後継者となしたというのである。僅か二年弱の在唐で帰国した空海は嵯峨天皇の退位を迫る薬子の変に応じ、本場仕込みの呪力で政変の鎮圧を祈願し、首謀者の藤原薬子・仲成姉弟を葬り去った。さらには早良親王が幽閉されていた乙訓寺の別当に就き、その怨霊を鎮めるなど崇りに戦慄く朝廷の信頼を克ち得ていくことになる。空海の血に脈々と流れる妖しい因子は唐文明という透析器を通して洗練され、上品なセクシーさへと浄化されていった。そして、それまでの猥雑で幻惑的な呪術は様式美を整えた耽美的密教儀式へと見事に昇華し、その教義・礼式を世に敷衍し折伏すること

トレンドNow

今話題のトレンドの波は寺社界にもジワジワ押し寄せています！

トレンド
発信



TERA SHOP GINZA店内の様子

新しいカタチのパワースポット 「TERA SHOP GINZA」

日本の神社仏閣に宿る揺るぎない優しさや強さを求め、若い女性や外国人の間では今やライフワークとなっているパワースポット巡り。東京東銀座に店を構えるショップ「TERA SHOP GINZA」は、遠出することなくお寺のお札やグッズを気軽に手に入れられる新しいカタチのパワースポットとして注目を集めている。

TERA SHOP GINZAでは、「感謝」「浄化」「成就」をコンセプトに、感謝の気持ちを伝えるギフト商品、こころとからだを清める浄化グッズ、夢を叶える成就グッズを中心に販売。東大寺をはじめ、興福寺、薬師寺、法華寺、金峯山寺、朝護孫子寺、帯解寺、安楽寺等、日本のパワースポットとして名高い寺院の選りすぐりのグッズ、蓮をモチーフにした雑貨、日本のハーブや薬草を使った安心安全のコスメ、古来の模様や天然石を使ったアクセサリーなど、寺院の知恵と感性を生かした日々の生活で使える様々なグッズが取り揃えられている。中でも、山形の僧侶が祈りを込めて作ったお稲荷さん「成就いなり」は、ここでしか手に入らない‘夢がかなう’逸品として大人気。現在、おかずも添えた精進弁当としてリニューアル中。今秋に販売予定だそう。

■〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目13-5
GINZA STビル1F
TEL.03-6264-2342 <http://www.terasshop.co.jp/>

宝刀「蛭丸」がサイダーに 地震で倒壊の阿蘇神社を支援

熊本地震の本震により、熊本県の阿蘇神社では国の重要文化財である楼門が倒壊、神殿や拝殿なども大きな被害を受けた。再建には10年、総額約20億円以上が必要と予想されている。その復興支援のため、地元の特産品企画会社「阿蘇・岡本」が、神社ゆかりの宝刀「蛭丸（はたるまる）」を冠したサイダー「蛭丸サイダー」を発売。

「蛭丸」は阿蘇神社の宮司に代々伝わる刀で、合戦で刃こぼれた刀に無数の蛭が群がる夢を見た翌朝、刃こぼれがなくなっていたという伝説を持ち、1931(昭和6)年には国宝に指定されたものの、戦後は行方不明となっている。同社は、今年2月から「蛭丸サイダー」の開発を進めていたが、完成間近に被災。サイダーを製造する建物も損壊の被害にあったが早急に復旧が進められ、本震から1カ月後に「阿蘇神社復興プロジェクト」として発売が開始された。サイダーは、神社近くの門前町でくみ上げた地下水が使用され、蛭の光をイメージした淡い黄緑色、すっきりとしたマスカットの風味が特徴となっている。1本300円(税込)のうち100円を再建費用として寄付、総額1億円を目標に100万本の販売を目指しているとのことだ。



1本(300円)からHP(<http://www.aso-sake.com/>)で購入可能。

神社仏閣を多言語で世界に発信!



<http://sanpai-japan.com/>



SANPAI JAPAN は日本文化の代名詞とも言える神社仏閣、文化財を多言語で紹介させていただいている総合情報サイトです。

日本には15万を超える神社仏閣がありますが、それぞれに独自のストーリーがあり、そのどれもが日本の財産だと思っております。私達はそのストーリーを外国人や日本の若い世代の目線で紹介させていただくことにより新たな参拝者の誘客やリピーターの増加へつながるよう活動しております。

SANPAI JAPAN は記事や動画等、様々な形で配信されていますが、中には、神社仏閣を参拝する際の基礎的な知識やマナーを紹介しているものもあります。というのも、取材をしている中で、日本の若者もそうですが、多くの外国人観光客から正しい作法を知りたいという要望が多数あったからです。例えば、手水屋での作法について説明書きがある施設も多数ありますが、多言語化されていない例も多く、何の目的で何をすべきかが分からず、旅行者の意図にかかわらず結果としてマナーを守っていないということが多数見受けられました。このような問題意識から、多様な文化を持った海外の方々にもストレスなく参拝いただけるよう神社仏閣との懸け橋になれたらと思ひ、WEB や一部紙媒体等でもマナー紹介をしております。

また、外国人観光客の方々を取材して気付くことは、いつもテレビや雑誌で取り上げられているような有名な神社仏閣以外は殆ど知らないということです。先日、外国人観光客のグループに持ち合わせていた神社の英語の資料をお渡したところ、翌日にはその神社へ足を運ばれたとのことで、大変感動したとお礼のメッセージをいただきました。彼らは本当に喜んでおり、このような些細な情報提供が誘客につながるのだと実感しました。SANPAI JAPAN では、上記のような成功事例を積み重ね、全国の津々浦々の神社仏閣を少しずつ紹介させていただければと思っております。

尚、サイトの名前である『SANPAI』は『参拝』からきています。多くの日本人にとって、クリスマスは皆で祝い、大晦日には除夜の鐘に耳を傾け、年が明ければ初詣をするということは珍しいことではありません。宗教で言えば、多くがキリスト教に仏教、神道の習わしを分け隔てなく受け入れています。世界的に見ても稀有なことです。この宗教的寛容さがまさに日本の平和の象徴だとも言えます。クリスマスは例外としても、日本人は根底で『神さま、仏さま』という宗教観を持ち、いつも緩やかに神社仏閣を尊んでいます。神社仏閣の皆様のご理解を賜りつつ、この緩やかで大切な宗教観で海外から観光客をおもてなしさせていただくのが SANPAI JAPAN の使命であると考えております。

Sanpai Japan は全日本社寺観光連盟が管理運営しております。

Instagram (Sanpai_Japan), Twitter (Sanpai_Japan) Facebook も同様のアカウント名でございます。我々のサイトや組織に興味があれば、是非これらの SNS のフォローをお願いします。

また、お困りのことや、質問等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

神社仏閣を参拝する際の基礎的な知識やマナーを紹介



全国の津々浦々の神社仏閣を紹介



お問い合わせ先

一般社団法人 全日本社寺観光連盟 〒107-0052 東京都港区赤坂2-8-16 赤坂光和ビル2階
TEL:03-6416-0166 FAX:03-6230-0349 Email:info@jtast.jp URL:http://jtast.jp/

寺社のみなさまのご要望にお応えして

広報活動をお手伝いします

プレスリリース(広報用資料)の受け付けを開始いたしました!

- 特別拝観や催し事(イベント含む)の開催
- 一般の方々に告知したい取り組み
- 他の寺社に告知したい取り組み
- 組織・人事の異動
- 新しい試み・事業
- 宿坊情報の掲載

など、貴社寺の情報を当協会までお送りください。



情報誌・ウェブ版「寺社Now」、
宿坊ポータルサイト「和空」、SNS、
関連ウェブメディア に記事が無償で掲載いたします!

なお、諸事情で掲載ができない場合がございます。あらかじめご了承ください。



ウェブ10万PV※
Facebook5万いいね!※
雑誌発行部数
3万部で発信!

※グループ合計

プレスリリースの資料や写真を下記までお送りください ※当協会から確認のご連絡をする場合がございますので、ご担当者のお名前、電話番号などの連絡先を必ずご明記願います。

〒 郵便・宅配便で送付

一般社団法人 全国寺社観光協会 本部事務局
〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-13 10F TEL:06-6360-9838

✉ e-mailで送信

info@jjsya-kk.jp
※件名にプレスリリースとご明記ください

次号は
10月発行の
予定です。

監修
一般社団法人 全日本寺社観光連盟

発行人
一般社団法人 全国寺社観光協会

編集・制作協力
株式会社 関西ぼど

発行所
一般社団法人 全国寺社観光協会
(事務局)
〒530-0044
大阪府大阪市北区東天満1丁目11番13号
AXIS 南森町ビル 10F
Tel:06-6360-9838 Fax:06-6360-9848

寺社NOW
第1巻第10号 平成28年8月発行

本誌の表紙、記事、写真、イラストはすべて著作権法で保護されています。
本誌の許諾なしに複製(コピー)したり、印刷物やインターネットのWEBサイト、メール等に転載したりすることは違法となります。

バックナンバーのご案内

寺社の“いま”を伝える情報誌「寺社Now」は、全国の寺社に無償でお届けしています。



vol.6

- ◆巻頭特集 防災拠点としての寺社
- ◆インタビュー 神仏霊場会会長(石清水八幡宮宮司) 田中恒清 金峯山修験本宗 新管長 五條良知



vol.7

- ◆巻頭特集 地域振興拠点としての寺社
- ◆インタビュー 日本政府観光局(JNTO)理事長 松山良一 第20期全日本仏教青年会理事長 東海林良昌



vol.8

- ◆巻頭特集 地域の行政や組織と連携する寺社
- ◆インタビュー 大阪天満宮宮司 寺井種伯



vol.9

- ◆巻頭特集 寺社を中心とした街づくり 近年活気付く門前町の活動
- ◆シリーズ: 地域と霊場会 びわ湖百八霊場

バックナンバーはWEBでもご覧いただけます。

jjsya-now.com または

本誌の記事に関するお問合せは
右記にお寄せください。

一般社団法人 全国寺社観光協会 本部事務局
〒530-0044 大阪市北区東天満 1-11-13 10F
TEL: 06-6360-9838 FAX: 06-6360-9848 e-mail: info@jjsya-kk.jp

より良い誌面作りのため、寺社の皆様の貴重なご意見をお聞かせください！

寺社Now 誌面アンケート

「寺社Now」ではより良い誌面をつくるために誌面についてのアンケートを実施しております。
下記のアンケートの□内には✓を、()内にはご記入をいただき、下記までファックスか郵送にて
このアンケート用紙をお送り願います。

Q1. 所属

寺院 神社

Q2. 今月号で面白かった記事はどれですか(複数回答可)

巻頭特集:寺社をとりまく自然災害リスク 建築物の耐震について考える トレンドNow スペシャル:急速に進む寺社の「Free Wi-Fi」導入 全国寺社イベント:新川神社・最勝寺「神仏かふえ。」 行政・観光レポート:「東北デスティネーション・キャンペーン」を実施 PICK UP:寺社と地域の絆を結ぶ「街路灯」の新たな役割 うちのお宝:戒壇院 梵鐘/宇美八幡宮 聖母宮御神像
インタビュー:東北観光推進機構会長 清野智 職人技:宮大工 長谷川工務店 活性人:源妙寺上人 渡邊源昇
シリーズ:地域と霊場会:知多四国霊場会 特別連載①:「宿坊創生プロジェクト」始動!! 宿坊研究レポート:熊本地震から見た宿坊による減災の可能性 宿坊運営ノート:信貴山 玉蔵院/禪の湯 風まかせ:セクシー、そんなこんなの弘法大師 その二 トレンドNow: TERA SHOP GINZA、名刀「蛭丸」がサイダーに 四季巡り 華景色:海蔵寺の萩

Q3. 以下の項目で、寺社の取り組みの事例として知りたいものはどれですか(複数回答可)

観光 外国人対応 宿坊新規開設・運営 寺社イベント 広報 地域振興 結婚式 後継者育成 土地活用
その他 (ご記入ください:)

Q4. 今月号の記事、広告を見て実際に問い合わせた、もしくは興味を持った内容があれば教えてください。

広告を見て問い合わせた、あるいは興味を持ったところの会社・団体名:

Q5. 以下の項目で、知りたい企業サービスはどれですか(複数回答可)

ホームページ SNS運用代行 アプリ開発 告知ツール制作(掲示物・ダイレクトメール・冊子・チラシなど)
フリーWiFi 自販機設置 喫煙所設置 清掃 老朽化・耐震対策 警備 保険 介護施設 託児所
土地活用 資産運用 税金対策
その他 (ご記入ください:)

Q6. 寺社Nowへのご要望・ご感想など

ご記入ください:

寺社Nowのバックナンバーおよび、寺社Nowの継続購読をご希望の場合は、
下記の内容をご記入の上(□内✓をお願いします)、FAX送信またはご郵送ください。

<input type="checkbox"/> バックナンバー希望	ご希望のバックナンバーの号数に○をご記入ください ※複数可	<input type="checkbox"/> 継続購読希望
(Vol. 1	2 3 4 5 6 7 8 9)	

寺社名		氏名	
ご住所	〒		
お電話番号			

< FAX >06-6360-9848
< 郵送 >
〒530-0044
大阪市北区東天満1-11-13 10F
一般社団法人 全国寺社観光協会
寺社Now編集部宛

【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただいた個人情報は寺社Nowや同誌バックナンバーの発送および全国寺社観光協会からのご連絡以外には使用しません。

四季巡り 華景色

海蔵寺の萩 ハギ



【海蔵寺について】

場所: 神奈川県鎌倉市扇ガ谷4-18-8 宗派: 臨済宗建長寺派
山号: 扇谷山 創建年: 1253(建長5)年

撮影・文 原田 寛

鎌倉市在住。日本全国の古都や歴史の町並みを中心に撮影活動をし、鎌倉の歴史と文化・自然の撮影をライフワークとしている。

万葉集の中ではウメやサクラを抜いて最も多く詠まれている花がハギ。日本人には古くから親しまれ、身近に感じる花の一つ。関西ではおとなしい花姿のヤマハギ系を見かけることが多いが、鎌倉ではほとんどがミヤギノハギとシラハギ。鎌倉駅の西側・扇ヶ谷に立つ海蔵寺(臨済宗建長寺派)は鎌倉有数の名所で、山門前で紅白のハギが長い花房を秋風に揺らしている。



感動のそばに、いつも。



人をつなぐ、笑顔をつなぐ。
JTBは地球を舞台に、
あらゆる交流を創造し続けます。



挑戦の 数だけ、 保険が ある。

保険は、冒険から生まれた。
大航海という挑戦を助けるために、
勇気をつくるために、
保険は生まれた。

さあ、挑戦しよう。
人は何かを始めることで前へ進み、
世界は新しく変わってゆく。
不安も、きっとあるだろう。
でもそれは、分かち合うことで軽くなる。

世の中には2種類の人がいる。
挑戦する人、しない人。
充実した人生を送るのは、
どちらの人だろう。
人から愛され尊敬されるのは、
どちらの人だろう。
世の中を変えていくのは、
どちらの人だろう。

私たちはすべての挑戦を応援します。

To Be a Good Company
東京海上日動



JOCゴールドパートナー(損害保険)